



正会員の拡大！ 『小沢まさひと』再選！

＝1/25 連協別拡大幹事会で意志結集＝

当日は6連協と現職役員合わせておよそ200名の会員、組合員が市ヶ谷に集い、①「正会員の拡大に現退一体で取り組む」②「参議院選挙勝利に向け全力で取り組む」の2点を確認しました。

冒頭、J P 労組東京中田委員長より「J P 労組の将来ビジョン」と「未来づくり集会」の意義について提起。

続いて『小沢まさひと』参議院議員が登壇。「昨年の総選挙において与党が過半数割れとなったばかりでなく、改憲勢力も3分の2を割り込ませた意義は大きい。自民党による金の政治が政策を歪めてきたことが明らかになっている。団塊の世代70万人が75歳以上となるこれ以降の少子高齢化・人口減少の時代に対する様々な課題の解決には政権交代しかない！」と力強く決意を語られ、満場の拍手。

中央と東京を兼任する加藤事務局長より、退職者の会の組織数の推移と現状から「正会員の拡大の重要性」と「小沢まさひと後援会加入状況と参議院選挙で与野党逆転を目指す意志結集を」と要請。参加された現職役員と支部別の意思疎通の時間を挟み、村崎地方幹事の力強い閉会挨拶で参加者の決意を固めました。



丸山副委員長の開会挨拶

「生活設計学習会」で加入の呼び掛け

2月1日に開催されたJ P 労組東京主催による「生活設計学習会」に退職者の会より各連協幹事等も参加し、60歳を迎えた現職組合員お一人お一人に、退職者の会の案内と協力会員への理解を語りかけました。



=忘れてはならない 東京大空襲=

2025年「3.10東京平和集会」

3.10 東京平和集会に 220 名が結集

「今年は戦後 80 年の節目の年です」開会にあたり高木会長からの思いを込めた挨拶―「80 年前の今日、わずか 3 時間で下町住宅密集地への米軍 B 2 9 爆撃機による 60 時間を超える焼夷弾投下で約 10 万 5400 人の死者、15 万人の負傷者。この事実を日本のメディアが伝えず、小中学の教科書に



吉浦 宏さんの講話

も載らない。語り継ぐことは私たち退職者、高齢者の責務です。沖縄、広島、長崎はじめ全国には戦争の悲惨さを伝える施設があるが、東京にはない。33 年前に多くの市民運動で鈴木都政が建設方針を表明、その後 2001 年に「東京都平和祈念館」開設予定とされたが、石原都政から小池都政でも凍結状態が続いている。『忘れてはならない！東京大空襲』語り継ぎましょう」



来賓には J P 労組東京中田委員長、小沢まさひと参議院議員、山花郁夫衆議院、東京高退連永田事務局長においで頂きました。今回の映写はアメリカ作成の「硫黄島の真実と東京大空襲」より東京大空襲の場面のみを抜粋。「空襲を行った操縦士が笑顔で帰路に就いた場面に戦争の悲惨な人間像を恐ろしく思った」との会場発言（多摩西会員）。

今回の講話は台東支部の吉浦宏さんより、戦争当時の疎開の思い出、戦後の東京の焼け野原の状況、慰霊と東京大空襲を語り継ぐ運動の始まりの歴史などについてお話いただきました。現職組合員からも「現在の国際的な動きも戦争前夜を思わせる、SNS で惑わされる人もいるが、労働条件改善に奮闘する組合のがんばりが大事」「今の平穏は当たり前ではなく、今を大切にするために次代につなげたい」と 2 名から発言されました。

慰霊堂での献花時は、戦後 80 年ということもあるのか、昨年より参拝者も目立っただけではなく、マスコミ関係などカメラマンも来ており、某新聞社から取材もありました。





「ミモザの会」

開催のご案内

🌸 5月24日(土) 14時より

🌸 新宿郵便局 9階大会議室

🌸 「安心な老後のために」
～知っておきたい制度・
やっておきたい手続き～

🌸 終了後懇親会 2,000 円

🌸 女性会員への参加呼びかけをお願いします！

第217回通常国会

政策・制度要求実現

2.13院内集会

【今後の取り組みについて】

日本退職者連合

事務局長 野田 那智子

2月13日、衆議院第一議員会館に於いて、日本退職者連合主催の制度・政策要求実現院内集会が開催されました。

はじめに、主催者を代表して人見会長より挨拶があり、自民党の裏金問題、物価高の中での

年金生活者の厳しい状況、予算の無駄と指摘さ

れている防衛基金の問題（800 億円がすでに積み立てられているが、実際に使用されているのは数億円、にもかかわらず今年度も更に 400 億円を予算化している）、そして現行健康保険証の存続、選択的夫婦別姓の導入、介護保険制度の充実、参議院選挙勝利、平和と民主主義、核兵器廃絶、核兵器禁止条約への批准を求めていくと話されました。



その後、立憲民主党 野田代表、国民民主党 古川代表代行、社会民主党 福島党首から連帯の挨拶がありました。

第 217 回通常国会に向けた要求では、財政金融の健全化、良質な雇用の安定拡大、社会保障、年金保険制度、医療制度、介護保険制度、子育て政策、物価高騰対策、ジェンダー平等、気候変動対策等、14 項目の要求、実現に向けた取り組みを確認しました。



その後、野田那智子事務局長からの報告があり、その中で『戦後 80 年、平和がどれだけ尊いのか、実は年末に石垣島へ行ってきた。机の上だけでは、そして話を聞くだけでは現地の様子が解らない。自分の目で確かめたいと現地に飛んだ。緑の生い茂る中に、広大な整備された石垣島駐屯地があった。有事の避難訓練をしていた。お金を使い有事に向けて着々と準備が進められていた。ベトナム戦争時、そして今回と沖縄は決して戦後ではない。私達は微力だが熱意がある。この熱意は死ぬまで持っていきたい。』と、話され、その思いが熱く伝わってきました。

そして最後に、集会アピールが採択され、人見会長による団結ガンバローで終了しました。 【レポート岡田地方幹事】



東京高退連 2025 年度 第 1 回全体学習会を開催

東京高齢・退職者団体連合は昨年の総会において、25 年にわたり東京高退連を牽引された宮崎事務局長が退任され、永田新事務局長を含め新たな体制になりました。



遠藤会長の挨拶 諸団体連合

新体制での第 1 回全体学習会が、2 月 20 日(木)14 時より田町交通ビル内連合東京会議室において開催されました。今回は、2.13 院内集会でも報告された日本退職者連合事務局長の野田那智子さんを講師に、「ジェンダー平等と高齢化社会」と題して、退職者連合のめざす社会と課題について講演していただきました。JP 労組東京退職者の会からは高退連の副会長を務める高木会長をはじめ 10 名を超える幹事、会員に参加いただきました。第 2 回の学習会は 6 月 12 日に予定されています。【レポート 桐谷地方幹事】



野田那智子講師

今年も参加しました！

2.27 連合全国一斉アクションは日比谷野音での集会後、銀座の繁華街をデモ行進し、「みんなでつくろう！賃上げが当たり前の社会」「格差是正で地域も経済



も元気にしよう！」「実現しよう！多様性を認め合う職場・社会」「価格転嫁をみんなの賃上げにつなげよう！」「つくろう、はいろう、労働組合」とシュプレヒコールで街行く人々に訴えてきました。メーデーは 4.26！



力強く行進する星地方幹事

＝御礼＝団体署名

1 月 31 日に締め切りました『選択的夫婦別性の早期実現を求める』団体署名は各連協のご尽力のもと、東京として 39 枚、全国合計 402 枚が集約されました。

各連協のご協力に感謝申し上げます。

引き続き、連合東京の『2025 年度最低賃金引き上げに関する要請書』のご協力をお願い致します。

